

発生国・中国の現状 lose up! China

昨年末に武漢市で新型コロナウイルスが発生してから中国国内では、大規模な移動制限やマスクの義務化、各所での検温などの厳格な感染症対策が行われました。発生から約4か月経過した現在の中国はほぼ終息に向かっています。中国で過ごし感じたことは「マスクの着用と人との接触回避の重要性」。感染症から福智町を守るためにも、中国の取り組みを生かしてほしいと思います。

中国に赴任中の福智の住民
香月 謙治さん(弁城)



福智町で感染拡大が起きてしまったら
現在、日本では新型コロナウイルスの感染拡大が進行中で今後は町内でも感染者が出る可能性が十分にあるため予断を許さない状況です。仮に町で感染拡大が起きた場合に

町内に入院施設はなく、近隣の病院はすでに入院が困難なため、軽症者は自宅などでの待機の可能性が高いと思われます。
千里の道も一歩からまずは認識を改める
感染拡大を防ぐために

大切な人を守るために 一人ひとりができること

各地で感染が広がる中、予断を許さない状況の福智町。町医療の最前線で戦う村田医師に打開への鍵を伺います。

福智町立コスモス診療所・村田篤彦医師へ特別インタビュー

医療従事者の感染リスクを抑えるため、今回のインタビューは村田医師とメールのやり取りで取材を実施。



- Infectious Disease Control
- 1 人との距離を2m以上保つ(極力対面を避ける)
 - 2 風通しをよくする。(こまめな換気も有効)
 - 3 マスクをする(布マスクやハンカチも効果あり)
 - 4 手洗い・アルコール除菌を徹底する

は「ウイルスを自分、あるいは相手が持っているかもしれない」という認識を持つことが最も重要。「三つの密(密閉・密集・密接)」を避け、次の4行動を徹底することが感染拡大を防止する最善の手段です。しっかりと守っていただきたいと思っています。

私とあなたの命を守る
そのために――

日本の医療は現在、ほぼ崖っぷちまで追い詰められ医療崩壊が目前に迫っています。その本当の怖さは「医療スタッフの不足や病院の閉鎖などで他の治療が受けられなくなる」とです。自分の命、そして大切な人の命を守るために、一人ひとりが「今、どんな行動が必要なのか」をしっかりと意識して行動できるかが感染収束への鍵。福智町、一丸となって直面するこの大危機を乗り越えていきましょう。

新型コロナウイルス感染症の情報発信について

福智町公式ホームページで「新型コロナウイルス感染症に関する情報」を公開しています。対策方法や福岡県内の感染状況、各種助成金・貸付事業の詳細なども確認可能。最新のお知らせもこのページで発表していく予定ですので、ぜひご活用ください。

福智町公式 HP 検索



ホームページのトップバナーをクリックすると当該ページへのアクセスが可能



助け合いの心を、百円のお弁当に詰めて

西田川子ども食堂が「ニコニコ弁当」を百円で販売

新型コロナウイルス感染症に関する報道が絶えず流れる今日の日本。町内も施設の閉鎖や行事の中止などで暗い雰囲気にも包まれる中、人が人を思う優しさあふれるお弁当に出会いがありました。



「百円弁当」の誕生は、ママ友の悲痛な声から

「このお弁当が、こんなに大反響をいただき、私たちも驚いています」と頬を緩ませるのは、金田地区で「西田川子ども食堂」を運営する空閑真理代さん(金田)。創設時から毎月開いていましたが新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、3月の開催を中止に。しかし、保護者同士の集まりで「仕事が休めず、子どもの食事の準備が大変」などの不便を耳にしたことが気にかかっていた空閑さんは「この状況をどうにかできないか」と子ども食堂の運営仲間の松山敦子さん(金

田)と福島三記さん(金田)に相談を持ち掛けます。

手探りで始めた販売 SNSなどで大反響

3人による話し合いの結果、困っている子どもたちや保護者のために、百円弁当の販売を決断。初の試みだったため、



令和元年11月に設立されたボランティア団体。子どもの居場所作りに関する活動を毎月1回ほど展開中。

灯し続ける支援の火
これからも――

「緊急事態宣言や外出自粛要請が出されたため、今は活動を休止していますが、何かできることはないかと常に考えています」と真剣な眼差しを向ける空閑さん。「感染症の状況をうかがいながら、支援を継続していきたい」と力強く未来を見据えています。